

## UTCPトークシリーズ

# 傷つくことと 慈しむこと

### 第1回

## ～ケアが生まれる「居場所」とは～

2023年2月25日（土）

16:00-18:00 @Zoom（参加無料、要事前登録）

阿比留久美

早稲田大学文学学術院  
若者協同実践全国フォーラム理事



荒井和樹

全国こども福祉センター理事長  
中京学院大学専任講師

企画・進行：宮田晃碩（UTCP特任研究員）、中川瑛（UTCP研究協力者）

本トークシリーズの出発点は「ケアの倫理」の考え方です。伝統的な倫理学が人間を「自律的な個人」として捉え、その行為の善悪を論じてきたのに対し、ケアの倫理はむしろ人間を「傷つきやすく、他者に依存する存在」として捉え、そのニーズへの応答を倫理の基盤に据えます。しかし傷つきやすさ（**vulnerability**）を直視するのは容易ではありません。社会的な役柄のなかでそれはやり過ぎされがちですし、勇気を出して向き合えば、それは自他をともに疲弊させます。どうすれば傷つきやすさを受容できるのか、それは個人や集団をどう変えるのか。これが私たちの問いです。

第1回となる今回は、子ども・若者の「居場所」（あるいは居場所のなさ）から考えてみます。自分らしくいたいという思いは、どんな場所で、どのように受けとめられるのか。それを支えるものは何なのか。実践を慈しむような思考の旅へ、いざ出発です。

